

にーだんご



発行：くにたちの暮らしを記録する会

(佐伯安子)

民具調査と

本田定弘（十五代当主）氏と

ヤエ（奥様）様との出会い

当代会表 佐伯安子

私が本田家に入出入りをさせて頂けたのは、民具調査のお陰ですが、当時（昭和五十年代）東京オリンピックが終って、国立市は高度成長期の最中でした。そんな時、本田定弘氏の聞き書きを担当した私が、初めて門をくぐって玄関に立ち「今日は、先日お願い致しました調査員の佐伯と申します」と大きな声でとにかく大きな広いお住居ですから元気よく挨拶したことを覚えていています。

奥より、やさしい美しい声で「ハイッ！」「どうぞお入り下さい」とヤエ様の声が！その時のこと、しっかりと覚えていません。胸がドキドキと高鳴っていました。

それもそのはず本田家のことは色々と下谷保のみなさんにお話しを頂き、大変な名家であることを聞き知っていたのでしたから、緊張の度は計り知れない程でした。

そして遠慮しながらも、足を踏み入れさせて頂きました。

一步入って目の前の光景は知る人ぞ知る、文化財の宝物ばかりでした。

伝統ある作品が所狭しと目の前にありました。

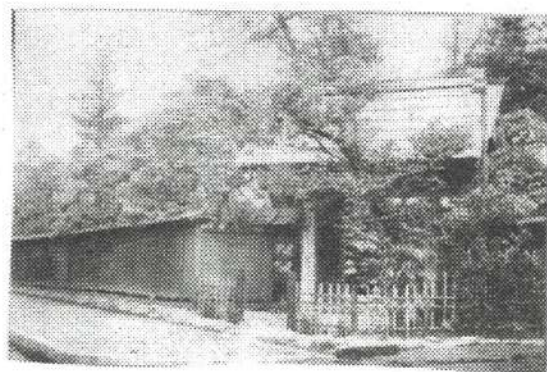
あたりを見回すだけで、この家の伝統と格式の重さを感じさせられました。

自然のままに旧家をしっかりと何百年も守り継いできた

代々当主の方々が偲ばれました。ヤエ様は美しい笑顔で「どう

ぞ」と上り框を示して下さい

ご主人（十五代当主）定弘氏ただおに取り次いで下さいました。



昭和 7 年道路拡張後の本田家

それからは、時々下谷保へ出向くと、寄せて頂き、いつも心良くお話しを聞かせて頂きました。

口数は少ないのですが、資料を見せて下さりゆっくりと説明してくださったり、ヤエ様は静かに台所に立って、私の為にお茶のご用意をしてくださったり、誠に優雅な心の安らぎの一時であつた事が思い出されます。